

20日朝、当庁時に取材に応じた松井一郎大阪府知事と報道各社とのやりとりは次の通り。  
一松井知事の昨日のツイッターについて、沖縄の機動隊員についてねぎらいの言葉があったが、どういった気持ちで投稿したのか。

「表現は悪かったし反省すべきだと思うけども、彼自身命令に従って、沖縄のために無用な衝突が起こらないように職務を遂行しているわけで、個人を特定されて、大手メディアも含めて徹底的にたたくと。これはやり過ぎでしょう、ということだね。で、処分されるわけでしょ、今度。まあ処分もされるけど、やっていた仕事については一生懸命やったんだからご苦労さまやったね、と」

一発言に関しては不適切だったというのは、ご自身としてはどういう部分が不適切だったのか。

「土人と言ったことについては不適切だということです。ただ、相手もむちゃくちゃ言っているわけでしょう。相手は全て許されるんかね。そりゃ公務員だし警察官だから、慎むべきは慎むべきだと思うけれども、その公務員で警察官で職務遂行中に間違っただけの発言をした。そうになると、その人を特定して、メディアがテレビで鬼畜生のようにけだもののようにその個人をたたくと。これは僕は違うんじゃないかと思いますね。確かに言ったことは悪い。反省すべき。でも、その現場において、相手からも散々言われる中で職務しているわけで。だからそういう中でもう日本国中、国民全てがね、もうその個人である一人の人間である警察官をたたきまくると。これはもう本当に落ち込みますよ。だから一生懸命やっていたことは認めようということです」

一ではあの「ご苦労さま」は府警全体ではなくて、あの警察官に対しておっしゃったのか。

「現場で働いている全ての人たちです。ええ。それは命懸けで行っているわけでしょう。それももめさせようと思って行っているわけではなくて、無用な衝突が起こらないように現地で警備をしているわけでしょ。そういう人たちに対してご苦労さまですということです」

一無用な混乱を引き起こしているのはあの発言そのものじゃないですか。

「無用な混乱って、発言についてはこれは認められないし、表現はまずかったし反省すべき。ですけども、彼がやっている職務そのものについては一生懸命やっているわけです。もともと混乱しているから現地に行っているわけでしょ。混乱していなかったら現地に行かなくてすむじゃないですか。もともと混乱地で無用な衝突を避けるために警察官が全国から動員されている。じゃあ、混乱を引き起こしているのはどちらなんですか。あれは日米ガイドラインに従って、北部の基地を返還するためにヘリパッドを造るという約束の下で仕事しているわけでしょ、みんな。混乱を引き起こしているのはどっちなんですか、ということです」

一私は大阪府民として、大阪府警の警察官が沖縄の方に対してあんな態度をとるのは恥ずかしくて見てられませんけど、そういう気持ちは起こらないんですか。

「言ったことは悪いし反省すべきだと思います。でも仕事をしている、職務を遂行していることについて、彼は一生懸命やっていた。そこは僕は認めます。沖縄の人からの感情、それはありますよ。だから言ったことについては反省すべきだと思うけど、そのことに対して仕事をしている全ての警察官、特に個人を特定されて、あそこまで鬼畜生のようにたたかれるという

のはちょっと違うんじゃないかなと思いますね」

— 一個人名を出したり、顔を出したメディアはないと思いますけれども。

「ありますよ。テレビでもやっていたじゃないですか。モザイク掛けていない番組もありますよ。見ましたけどね。どこやったかな。それは皆さんが一番知っているでしょう」

— 知事はこれまで米軍基地を八尾で受け入れることを検討されたり、沖縄にも何度も行かれて、沖縄に寄り添う姿勢を示してこられたりしたと思うのですが、それと昨日のツイッターはどうしても結び付かない。

「寄り添うから言っているんです。全国の首長の中でね、具体的に沖縄の基地の、オスプレイの訓練を自分たちが受けようということで、表明したのはこれはもう僕と橋下（徹）当時の市長だけです。何度も沖縄にも行っているし、沖縄の皆さんに日本の中で圧倒的な基地負担をさせていただいているのは、非常に僕は申し訳ないと思っているしね。ただ、発言は許されるべきではないけれども、大阪府警の警察官、全国の警察官がね。沖縄のために無用な衝突を起こさないように一生懸命働いているのは事実だと僕は思っている。だからそのことについては、出張はご苦労さまでした、と。だって帰らされて処分されるわけですから。そういう意味で、ああいうツイートをしました」

— 処分については、必要性についてはあると思っているのでしょうか。

「これ処分されるんですから」

— 他にも差別的な発言があったようなんですけども、そもそもどうしてそういった差別的な発言があったと思いますか。

「それはね、人間そこまでできていないけれども。売り言葉に買い言葉で言ってしまうんでしょう。現地の状況の中では、やはりついつい口が滑ると。でも相手も無茶苦茶言っているんでね。ネットで見ても。だからってこっちが言っているいいとは思わないけど。思わないけどもね。それをもって日本中の敵にされることはないでしょと僕は思う」

— 職務をすごく一生懸命やっておられるかもしれないけれども、それを全部台無しにしかねないことですよ。だから、それを含めて職務をしっかり遂行されたということか。

「だからそこは反省すべきと言っているじゃないですか。その発言は。その一つの発言で今までのことを台無しにするか。そこは表現が悪かったし、反省すべき。だからって全て職務をやってきたことをね、全部否定してね、その一人、個人を日本中がもう、要は鬼畜生、けだもの扱いするのは違うと。僕はやってきた職務についてはご苦労さまでした。これはもう処分されるわけですから。帰らされて。そう思っています」

— そうしますと、この発言は全ての、これまでの職務を台無しにするものではないということですか。

「職務については、彼らが一生懸命やっているから、まあ、無用なというか、争いが起こっているけど、そこまで大きな事態になっていないじゃないですか。あれ、止めているから。決まったことを粛々と仕事できる状況であれば、べつに全国の警察官があそこに行って警備する必要はないわけですよ。反対派の人たちもやっぱり過激な反対しているわけで。だからこそ、そこで事故が起こらないよう大きなけがをすとか、命を落とすとか、そういうことにならな

「ために、警察官がやっているわけじゃないですか」

「そこまで騒ぐことではないということか。」

「個人を特定して、たたくような話ではない、と。言った本人も反省しているんでしょ」

「処分に関して、適不適はどう思われるのですか。」

「これは警察庁で判断されます。でも、言った事実はあるんで、処分はされるんでしょ」

「公安委員会を所管する知事としてはどう思われるのですか。」

「これは警察庁、国家公安委員会でやると思う」

「警察官へのモラル教育としてはどういうことが必要だと思いますか。」

「これ日々やっていますよ。幹部の警察、大阪で言えば府警本部長、各署長、日々警察官に対してはやはり要は、府民から見てモラルを守ってね、その横柄な態度をとらず、日々やっているけれども、現場現場の状況においては人間のやることですから間違うこともあると思います」

「こういった大阪府警の警察官の発言として全国に流れることってというのはどうお考えか。」

「これは大阪府警の警察官がそういう発言をしたんだから、だからその発言に対してご批判があるのは仕方がないと思っています。でも、そのことをもって個人、一人の警察官が日本中からたたかれるようになるのはちょっと違う。反省しているんで」

「そうすると、こういったことが起こらないために何をすべきとお考えか。」

「基地の問題を解決すべきです。それは沖縄の皆さんにこれだけ負担していただいているんだから、外交の話、防衛の話なんでね。沖縄の皆さんの百点満点の答えは出せない。でも少しづつ基地を返還しようと、今政府もやっているわけで。われわれも日米地位協定の改定については具体的に政府に提案しているし、僕らは沖縄の国会議員も仲間にいるわけで。沖縄の皆さんのそういう声を、野党ですからすぐできないが、これは愚直に一步一步進めるように、絶えず提案しています」

「あらためてツイッターの件だが、党代表としてのツイッターでやっていらっしゃると思うんですけども、これは党の代表としても同じ意見でしょうか。」

「同じ意見です」

「先ほど「混乱を生んでいるのはどちらでしょうか」という言葉がありましたけれども、ああいった状況の中で、警察の方がやられていて、混乱が生まれている状況というのは市民団体側にあるとお考えか。」

「それは決まったことを、北部の基地をなんとか、返還させるために約束通りのことをしているわけなんでね。ちょっと反対派の皆さんもね、その反対行動。あまりにも過激なんじゃないかなと思います」